



ADVANTEST®

第72期 中間報告書

(2013年4月1日▶2013年9月30日)



"Keep Going" 引き続き安定した事業構造への 変革を進めてまいります。

代表取締役兼執行役員社長(CEO)

松野晴夫

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

アドバンテスグループの2013年度上半期(2013年4月1日から2013年9月30日まで)における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当期の世界経済は、日本では景気回復が続き、米国でも底堅い民需に支えられ緩やかな回復が続きました。一方で、欧州経済は低迷状態が継続したほか、近年世界経済を牽引してきた中国などの新興国諸国でも成長率の低下が見られるなど、減速感が一段と進みました。

半導体関連市場においては、2012年後半以降、パソコン需要の減退に加え、ここ数年市場の牽引役を担っていたハイエンド・スマートフォンの販売がこれまでの勢いを欠いているこ

とで、2013年の半導体市場の成長率是对前年比で小幅なものにとどまると予測されています。最終製品の需要減速に伴う在庫過剰への懸念から、半導体メーカーは増産投資に対する慎重さを強め、結果、期初に予測されていた水準より設備投資は下振れて推移しました。

このような環境変化により、主として非メモリ半導体用テストシステムの需要が伸び悩むなか、当社は、設備投資が回復しはじめたメモリ半導体向けで収益の獲得に努めましたが、市場の落ち込みを補うまでには至りませんでした。

以上の結果、受注高は609億円(前年同期比14.8%減)、売上高は596億円(同17.8%減)、営業損失は80億円、税引前当期純損失は74億円、当期純損失は93億円となりました。海外売上比率は90.5%(前年同期91.1%)です。

今後の市場環境につきましては、DRAM半導体の生産能力増強、新興国諸国におけるローエンド・スマートフォンの普及、新型ゲーム機の販売開始、ハイエンド・スマートフォン用半導体の在庫調整完了に伴う生産量回復など、好転要素の到来が期待されています。これらの動きにより、2014年から半導体生産は本格回復傾向に向かい、その影響下、半導体試験装置の需要も持ち直すものと見込んでいます。

また経費節減の努力に加えて、前年度より進めている、半導体試験装置周辺市場からの収益増加策、半導体試験装置以外の新規事業育成といった、業績の安定化とさらなる成長に向けた取り組みも徐々に収益に貢献してくるものと見込んでいます。

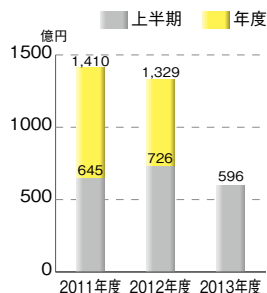
通期の連結業績予想につきましては、売上高1,430億円、営業利益0億円、当期純損失25億円を予想しております。予想の前提とした為替レートは、米ドルが1ドル98円、ユーロが1ユーロ129円です。

株主の皆様への中間配当金につきましては、1株につき10円とし、本年12月2日を支払開始日とすることを2013年10月29日の取締役会において決議いたしました。

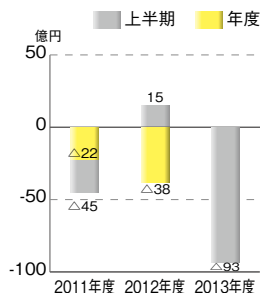
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2013年11月

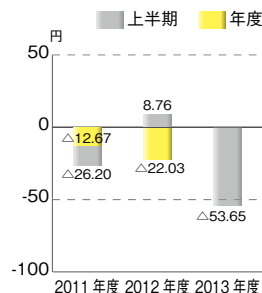
売上高(連結)



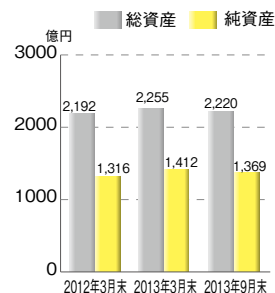
当期純利益(連結)



1株当たり当社株主に帰属する
当期純利益(連結)

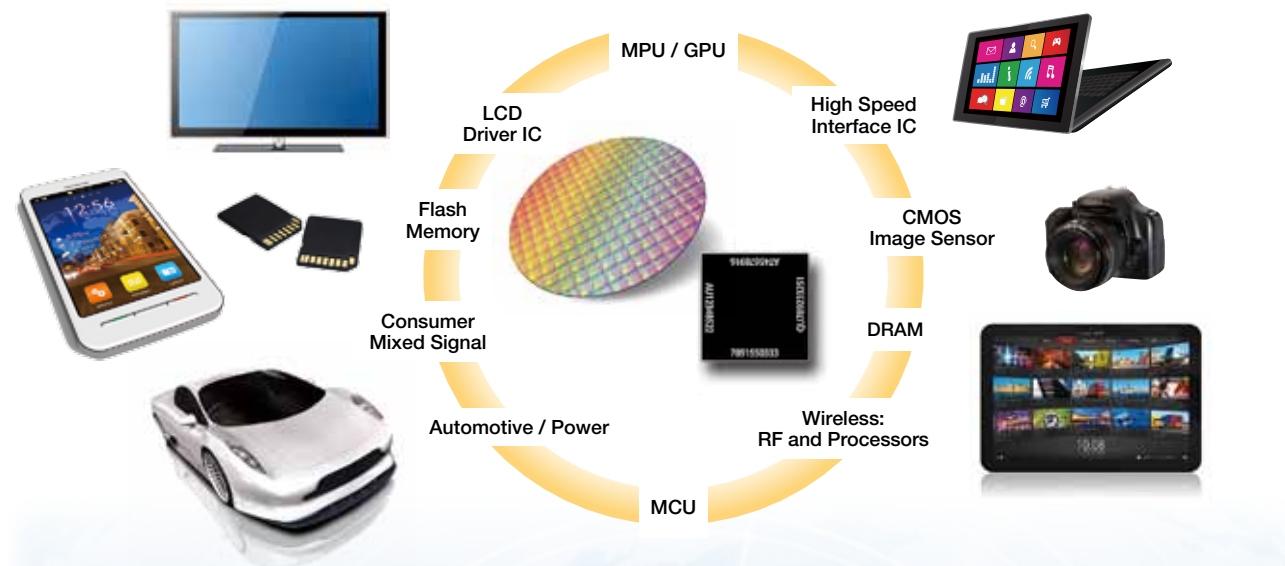


総資産・純資産(連結)



■ 身近な製品とアドバンテスト

当社のテスト・システムは、スマートフォンやパソコンなど、身近な電子機器に組み込まれるさまざまな半導体をテストしています。



T2000 テスト・システム



V93000 テスト・システム



T5831 メモリ・テスト・システム



T5511 メモリ・テスト・システム

[新製品]

メモリ・テスト・システム「T5831」の出荷開始



T5831

当社は、モバイル機器等で使用される次世代NANDフラッシュ・メモリの試験向けに、「T5831」の出荷を開始しました。T5831は、業界トップクラスのテストタイムと将来にわたって投資効率を最大化するシステム拡張性を備えています。

当社のメモリ・テスト・システムは、世界各地に8,000台以上設置され、メモリ・デバイス試験の市場をリードしております。これにT5831が加わることで、市場における当社のプレゼンスがさらに高まることが期待されます。

[新製品]

電子ビーム露光装置「F7000シリーズ」を 東大、京大ほかから計3台受注

「F7000シリーズ」は電子ビームを用いて微細パターンをウェハに直接描画する装置です。先端半導体の研究開発に求められる10ナノメートル台の微細パターンを、業界トップレベルのスループットで描画することができます。

当製品による先端の微細加工技術を幅広い分野に展開し、先端デバイス研究・開発の発展に貢献していきます。



F7000シリーズ

W2BI.COM, Inc. 社の買収完了

当社は、米国W2BI.COM, Inc. 社(以下w2bi社)を6月21日付で買収完了しました。

w2bi社は、スマートフォン、タブレット端末などの先端モバイル機器の動作を検証するためのソフトウェアを開発・販売しており、世界の主要な通信キャリア、携帯電話機器メーカーとのビジネスを築いております。

w2bi社のソリューションは、モバイル機器の新機種の開発評価や通信キャリアでの新製品認証、また不具合品の解析用途などで使用されています。

今後は当社のグローバルな営業・サポート体制を活用するとともに、当社とw2bi社のソリューションの融合を図り、さらなる事業機会の拡大を進めてまいります。



CloudTesting™ Service、拡大中!

当社子会社のCloud Testing Service社は、設立から一年が経ち、国内外でさまざまな取組みを進めています。

8月には事務所を横浜に移転し、新たに設けたセミナー用施設にて、定期的の実機を用いた無料セミナーを実施しております。

また7月に英語版ウェブサイトをオープンし、アメリカ向けにサービスを開始いたしました。今後は他の地域でもサービスを提供できるよう海外への事業展開を進めてまいります。

CloudTesting™ Serviceが提供する、小型のテスト端末と低コストで利用できるアプリケーションによって、好きなときに好きなだけ使えるパーソナルユース環境を実現しています。

この「テストの新しいカタチ」をより多くのお客様にご利用いただけるよう、今後もサービスの拡充を続けてまいります。

Cloud Testing Service社ウェブサイト

<http://www.cts-advantest.com/>



Cloud™
Testing
Service



お客様



サイズ：11cm(W)×20cm(H)×40cm(L)

小型テスト端末(貸与品)

CloudTesting™ Station CX1000P

連結財務諸表 [米国会計基準]

記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2012年度 (2013年3月末)	2013年度上半期 (2013年9月末)
〔資産の部〕		
流動資産	112,789	107,074
現金および現金同等物	45,668	45,772
売上債権(貸倒引当金控除後)	26,953	20,409
棚卸資産	31,849	33,082
その他の流動資産	8,319	7,811
投資有価証券	5,923	5,282
有形固定資産(純額)	41,368	41,673
無形資産(純額)	15,833	15,563
のれん	41,670	44,519
その他の資産	7,932	7,855
資産合計	225,515	221,966

科 目	2012年度 (2013年3月末)	2013年度上半期 (2013年9月末)
〔負債の部〕		
流動負債	27,900	28,923
買掛金	10,380	12,306
未払費用	7,910	8,001
未払法人税等	1,436	1,221
製品保証引当金	1,889	1,892
前受金	3,198	3,032
その他の流動負債	3,087	2,471
社債	25,000	25,000
未払退職および年金費用	26,785	27,437
その他の固定負債	4,589	3,721
負債合計	84,274	85,081
契約債務および偶発債務		
〔資本の部〕		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	42,801	43,062
利益剰余金	170,626	158,693
その他の包括利益(△損失)累計額	△6,929	△1,135
自己株式	△97,620	△96,098
資本合計	141,241	136,885
負債および資本合計	225,515	221,966

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2012年度上半期	2013年度上半期
売上高	72,558	59,638
売上原価	34,498	30,793
売上総利益	38,060	28,845
研究開発費	16,674	17,408
販売費および一般管理費	18,017	19,431
営業利益(△損失)	3,369	△7,994
その他収益(△その他費用)	△252	607
税引前当期純利益(△損失)	3,117	△7,387
法人税等	1,628	1,954
持分法投資利益	30	2
当期純利益(△損失)	1,519	△9,339

セグメント別売上高

(単位：百万円)

科 目	2012年度上半期	2013年度上半期
半導体・部品テストシステム事業	56,438	41,304
メカトロニクス関連事業	8,174	6,787
サービス他	9,651	11,638
内部取引消去	△1,705	△91
合 計	72,558	59,638

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

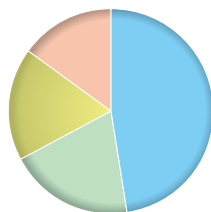
(単位：百万円)

区 分	2012年度上半期	2013年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,396	3,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,077	△3,956
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,520	△1,231
現金および現金同等物に係る換算差額	△2,017	1,911
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△7,218	104
現金および現金同等物の期首残高	58,218	45,668
現金および現金同等物の当期末残高	51,000	45,772

■ 株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数……………440,000,000 株
 発行済株式の総数……………199,566,770 株
 株主数……………47,779 名

●所有者別株式数分布状況



金融機関・証券会社	121名	95,105千株 (47.7%)
外国人	391名	39,361千株 (19.7%)
個人・その他	46,889名	35,316千株 (17.7%)
その他の法人・自己株式	378名	29,785千株 (14.9%)

■ 大株主 (2013年9月30日現在)

株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,718	13.04
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口		
再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	20,143	11.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,434	7.14
B N P パ リ バ 証 券 株 式 会 社	4,114	2.36
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,737	2.15
J P モ ル ガ ン 証 券 株 式 会 社	3,632	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,510	2.01
ソシエテジェネラルセキュリテズノースパシフィックリミテッド	2,830	1.62
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウト		
ジエイピーアールデイ アイエスジー エフイーイーエシー	2,260	1.30
み ず ほ 証 券 株 式 会 社	2,146	1.23

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(25,372千株)を控除して計算しています。
2. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数20,143千株は、富士通株式会社が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については富士通株式会社の指図により行使されることとなっております。
3. 「株券等の大量保有の状況に関する開示」制度に基づき、2013年8月21日付で提出された変更報告書により、三井住友信託銀行株式会社他2社が2013年8月15日現在13,866千株を共同保有している旨、2013年8月19日付で提出された変更報告書により、株式会社三菱東京UFJ銀行他4社が2013年8月12日現在16,474千株を共同保有している旨、2013年6月7日付で提出された変更報告書により、野村證券株式会社他4社が2013年5月31日現在10,413千株を共同保有している旨の報告を受けておりますが、当社として実質所有株式数の確認ができない部分については上記表に含めておりません。

●取締役および監査役

代表取締役会長	丸山利雄
代表取締役	松野晴夫
取締役	萩尾保繁
取締役	唐津治夢
取締役	吉川誠一
取締役	黒江真一郎
取締役	明世範 (ミヨン セボン)
取締役	中村弘志
取締役	吉田芳明
常勤監査役	栗田優一
常勤監査役	島山彰
監査役	小山室恵道
監査役	山倉正

●執行役員

執行役員社長 (CEO)	松野晴夫
執行役員副社長	黒江真一郎
常務執行役員	明世範
常務執行役員	中村弘志
常務執行役員	吉田芳明
常務執行役員	今田英明
常務執行役員	Hans-Juergen Wagner (ハンス ユルゲン ヴァーグナー)
執行役員	杉浦孝隆
執行役員	関野隆一
執行役員	塚越聡
執行役員	Josef Schraetzstaller (ヨゼフ シュレツェンスタラー)
執行役員	R. Keith Lee (R キースリー)
執行役員	中原真人
執行役員	岡安俊幸
執行役員	CH Wu (シーエイチ ウー)
執行役員	山下和宏
執行役員	佐藤憲幸
執行役員	中村隆幸
執行役員	Wilhelm Radermacher (ヴィルヘルム ラーデマハー)
執行役員	山田益弘
執行役員	南雲悟

商号：株式会社アドバンテスト
ADVANTEST CORPORATION

本店：東京都練馬区旭町1丁目32番1号

本社事務所：〒100-0005
東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
新丸の内センタービルディング
電話 03-3214-7500

設立：1954年12月2日

従業員：4,668名(連結)
(2013年9月30日現在) ※上記従業員には、派遣社員等を含んでおりません。

上場：東京証券取引所第1部(コード: 6857)
ニューヨーク証券取引所(Ticker Symbol: ATE)

当社ウェブサイト：http://www.advantest.com

2013年9月に当社ウェブサイトをリニューアルいたしました。
最新のニュースやIR情報などを掲載しておりますのでぜひご利用ください。



アドバンテスト

検索

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)	
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.advantest.com/jp/investors/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-49-7009 (フリーダイヤル)

ADVANTEST®

株式会社 **アドバンテスト**

<http://www.advantest.com>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング
TEL : 03-3214-7500



環境に配慮し、再生紙と植物油インクを使用しています。